東京都議会議員
おときた駿
都政レポート

東京都北区議会議員
斉藤りえ
区政レポート

おときた駿・斉藤りえ
合同レポート 目次

＜おときた駿の活動＞
【児童養護】すべての子どもたちに家庭を!
舛添知事が「里親措置を最優先」と答弁

＜斉藤りえの活動＞
議会の場からバリアフリーが進んでいます
本年度は文教委員会に所属

議会の場からバリアフリーが進んでいます

4月の統一地方選にて6630名の皆様より信託をいただきまして、この度、北区議会議員としての活動をスタートする事ができました。
皆様のご期待に応えるべく区制に貢献し目に見える結果を出せるよう邁進してまいります。
新聞やテレビにも度々出させていただきまして、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、**北区議会によりパソコン持込、音声読み上げソフトの使用の導入が認められました**。聴覚障がいというハンディキャップを持っている私には「声」による活動が中心である議会活動に不安を持っていました。

声の代わり ➡ 読み上げソフト　パソコンでタイピングした文字が自然な声で読み上げられます

耳の代わり ➡ 音声同時翻訳ソフト　他の方が話した言葉がその場で文字に変換されます

しかし、声の代わりとしての「読み上げソフト」と耳の代わりとしての「音声同時翻訳ソフト」という2つの音声ソフトの使用が認められたことで、支障なく活動することができそうです。
そして、**今回のソフトの使用の導入は日本で初めて**のこと。**北区が「バリアフリーの街」として、全国的にも注目される機会でした**。

聴覚障がいのみならず、北区には様々な障がいをお持ちの方がいらっしゃいます。まずは議会の場から、皆様のご理解ご協力により、念願のバリアフリー社会が進んでおります!

加えて、パソコン、タブレットの使用は聴覚障がいをお持ちの方のみではなく、全ての議員に認められております。その場で情報を検索、メモを取ることも可能。これまでよりも**北区議会全体の質の向上が期待**されます。

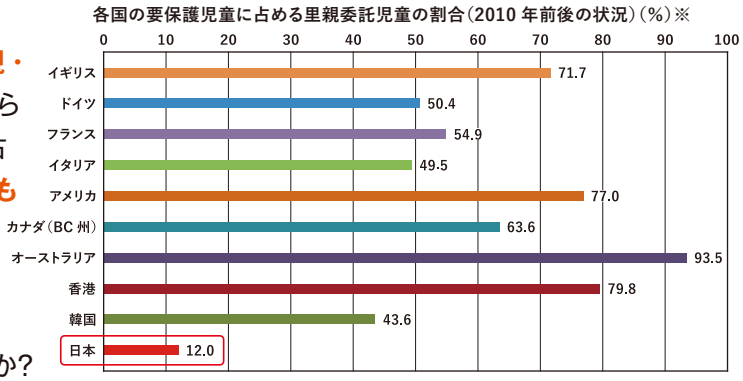
本年度は文教委員に所属。議会ではバリアフリー、子育て支援を中心に

本年度は「**文教委員会**」に所属することとなりました。
私自身も5歳の娘を育てる一人の母親として、北区の教育向上に努めてまいります。
6月末には、初めての定例議会が迫ってきています。議会では、当選前より掲げてきた**「バリアフリー」「子育て支援」を中心に、積極的に発言を行なっていきます**。
音声読み上げソフトも活用する予定ですので、ぜひみなさま、ご期待くださいね。

すべての子どもたちに家庭を！施設に暮らす4000人の子どもたち

なんらかの事情で両親や保護者と暮らすことができない「要保護児童」が、東京都に約 4,000 人いることをご存じでしょうか?保護者との死別以外にも、近年では虐待などを理由に要保護児童となる子どもたちが増えています。**彼らの多くが暮らす「児童養護施設」は、高齢者施設などに比べて予算や人員が著しく少なく**、十分な生活・学習環境を与えられているとは言えません。

そこで注目されるのが要保護児童に家庭を与える「里親・養子縁組」なのですが、我が国および東京都は諸外国に比べて、**この里親・養子縁組に極めて消極的です**。9 割近くの子どもたちが施設に送られ、里親措置をされて家庭を得られる児童はわずか 12% 程度(右図)。もちろん施設で立派に成長する子どもは大勢いますが、**子どもには「家庭を得る権利」がある**ことは我が国も批准している「子どもの権利条約」に明記されており、継続的な愛着関係を築く上でも望ましいとされています。



なぜ、我が国や東京都では里親・養子縁組が進まないのでしょうか?強すぎる権利を持つ実親が「里親に渡すのは許さない!」と施設入りを希望すること、前例踏襲主義の行政が里親委託の失敗を恐れること、里親をフォローする十分な人員体制がないこと…。しかし、**すべては「大人の言い訳」に過ぎません**。声なき子どもたちの権利を守り、しかるべき成長環境を与えること。そうすれば子どもたちは「良き納税者」へと成長し、社会を支える存在になるのです。**この分野への政策的投資は、惜しむべきではありません。**

※「家庭外ケア児童数及び里親委託率等の国際比較研究」主任研究者 開原久代(東京成徳大学子ども学部)
(平成 23 年度厚生労働科学研究「社会的養護における児童の特性別標準的ケアパッケージ(被虐待児を養育する里親家庭の民間の治療支援機関の研究)」)
※日本の里親等委託率 12.0%は、平成 22 年度末(2011 年 3 月末)
※里親の概念は諸外国によって異なる

予算特別委員会で追及、舛添知事が「里親措置を最優先」と答弁!

お金も票も持たない子どもたちの声はなかなか政治の世界に届きませんが、私は昨年からこの社会的養護の分野に取組み、**養護施設の待遇改善や、何より里親・特別養子縁組の促進**を訴え続けて参りました。あらゆる数字から東京都の取組みには改善の余地があること、他国や他県にはすでに成功事例があること、多くの現場の声、子どもたちの声を議会に届け、ついに予算特別委員会で、舛添知事から**「里親措置を最優先で検討する」**との答弁を引き出しました。

知事がここまで踏み込んだ答弁をしたのは、**都政史上初の出来事**です。小さな一歩かもしれませんが、議会での答弁は強い拘束力を持ちますので、東京都の社会的養護政策の転換点になる可能性もあります。
もちろん私は今後も小さな声に耳を傾け、要保護児童たちの環境が改善されるよう、活動を続けて参ります。

日本を元気にする会 東京都議会議員

おときた駿

1983年9月21日北区王子本町生まれ。
いなり幼稚園、北区立王子第二小学校卒の生粋の北区民。海城中学・高校、
早稲田大学政治経済学部政治学科を卒業後、外資系企業で 7 年間のビジネス経験を経て、
現在、**東京都議会議員**一期目。
平成27 年度は厚生委員会(副委員長)に所属。
日本初の「**ブロガー議員**」として話題のブログを365 日更新中!

公式サイトで情報発信中! **http://otokitashun.com**

各種連絡先
おときた駿事務所
〒114-0034 東京都北区上十条 2-25-14
Tel/Fax 03-3908-3121
メール mail@otokitashun.com

日本を元気にする会 北区議会議員

斉藤りえ

1984 年青森県生まれ。31 歳。一児の母。
1 歳の時に病気で聴力を失うも明るさと読唇術で接客業を多数経験。銀座の高級クラブ勤務時に**「筆談ホステス」**として話題になる。
現在、**北区議会議員**一期目。
2020 年東京パラリンピックに向け、「心のバリアフリー」を実現すべく活動中。
平成 27 年度は文教委員会に所属。

公式サイトで情報発信中! **http://saitorie.com**

各種連絡先
北区を元気にする会 会派控室
〒114-0022 東京都北区王子本町 1-15-22 4 階
Tel/Fax 03-3908-1342
メール mail@saitorie.com